

「激変の2020年市場と今後」

2021年2月5日



株式会社 データ・サプライ

代表取締役 山本 幸男

激変の2020年市場と今後

山本 幸男

株式会社データ・サプライ 代表取締役社長

〒110-0016 東京都台東区上野 6-6-1

yamamoto@datasupply.jp

[要旨]

2020年は新型コロナウイルスの影響で事務機の出荷は大きな影響を受けた。リモートワークの拡大でオフィスに出勤する社員が極端に減少したため、複写機・複合機の出荷及びチャージは想像以上に激減した。一方、プリンタでもローエンドに限っては、レーザー、インクジェットとともに特需が発生した。これによって、一部の会社を除き大多数の事務機メーカーの利益は半減し、赤字を余儀なくされた会社もある。2021年は2020年よりは回復すると見られていたが、冬季における新規感染者の増加で、急速な回復は難しくなっている。

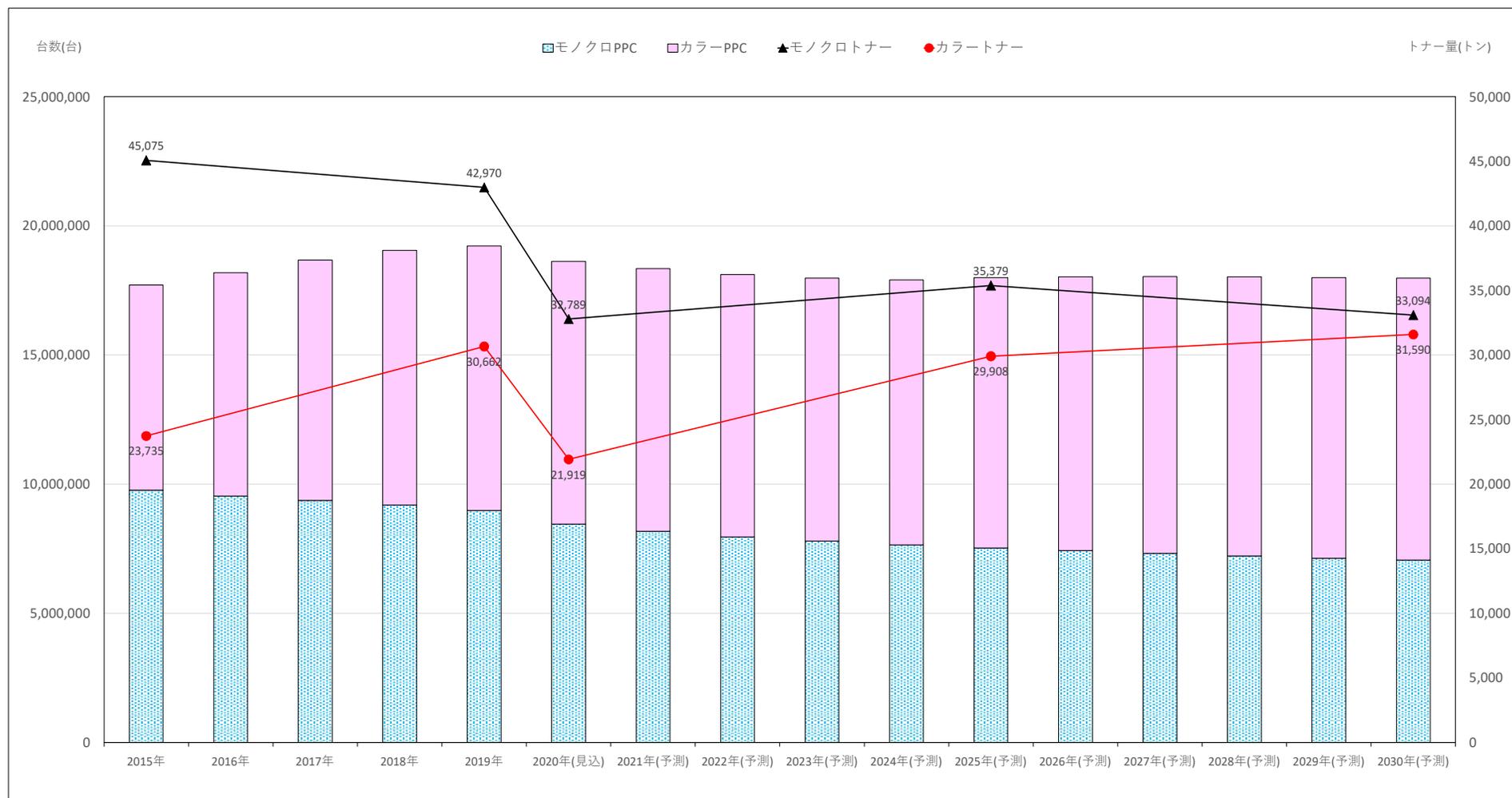
弊社では、複写機・複合機、レーザープリンタを中心に出荷台数と稼働台数がどのように変化をしたか、またそれによってトナーなどの消耗品の出荷量もどのように影響を受けたかを初めて算出し、今後の動向も予測した。

今回の講演は、こうした状況についての概要を説明する。

目次

1. オフィス向け MFP（複写機・複合機）の MIF（設置台数）
2. オフィス向けレーザー（LED）プリンタ（複合機）の MIF（設置台数）
3. 2010 年～2020 年のエンジンメーカーの動向
 - 1) MFP（複写機・複合機）事業
 - 2) レーザー（LED）プリンタ（複合機）事業
4. エンジンメーカーの OEM 関係の推移（OEM を受ける会社が増加）
 - 1) 件数比較
 - 2) 数量比の比較
5. トナーメーカーの生産量動向
6. 感光体の生産本数動向
7. 機能性部品メーカーの動向

1. オフィス向けMFP（複写機・複合機）のMIF（設置台数）

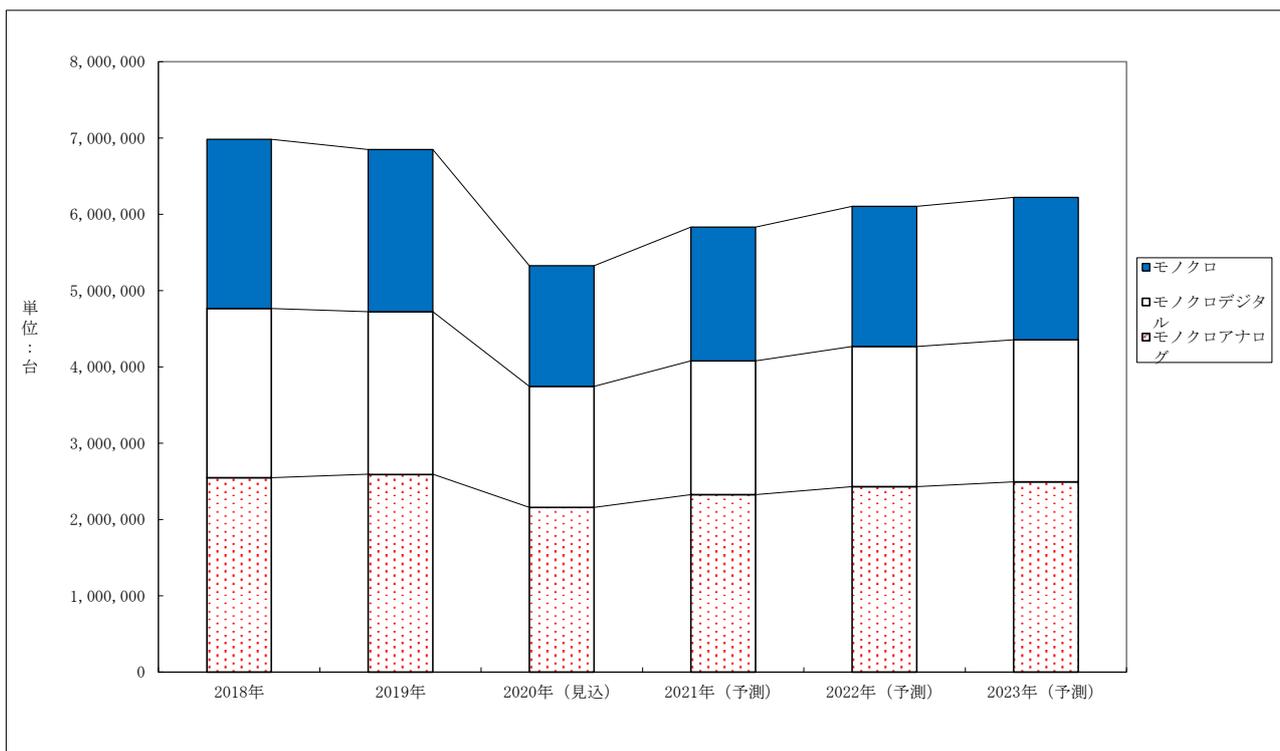


「2020年版MIFマーケット総覧」より

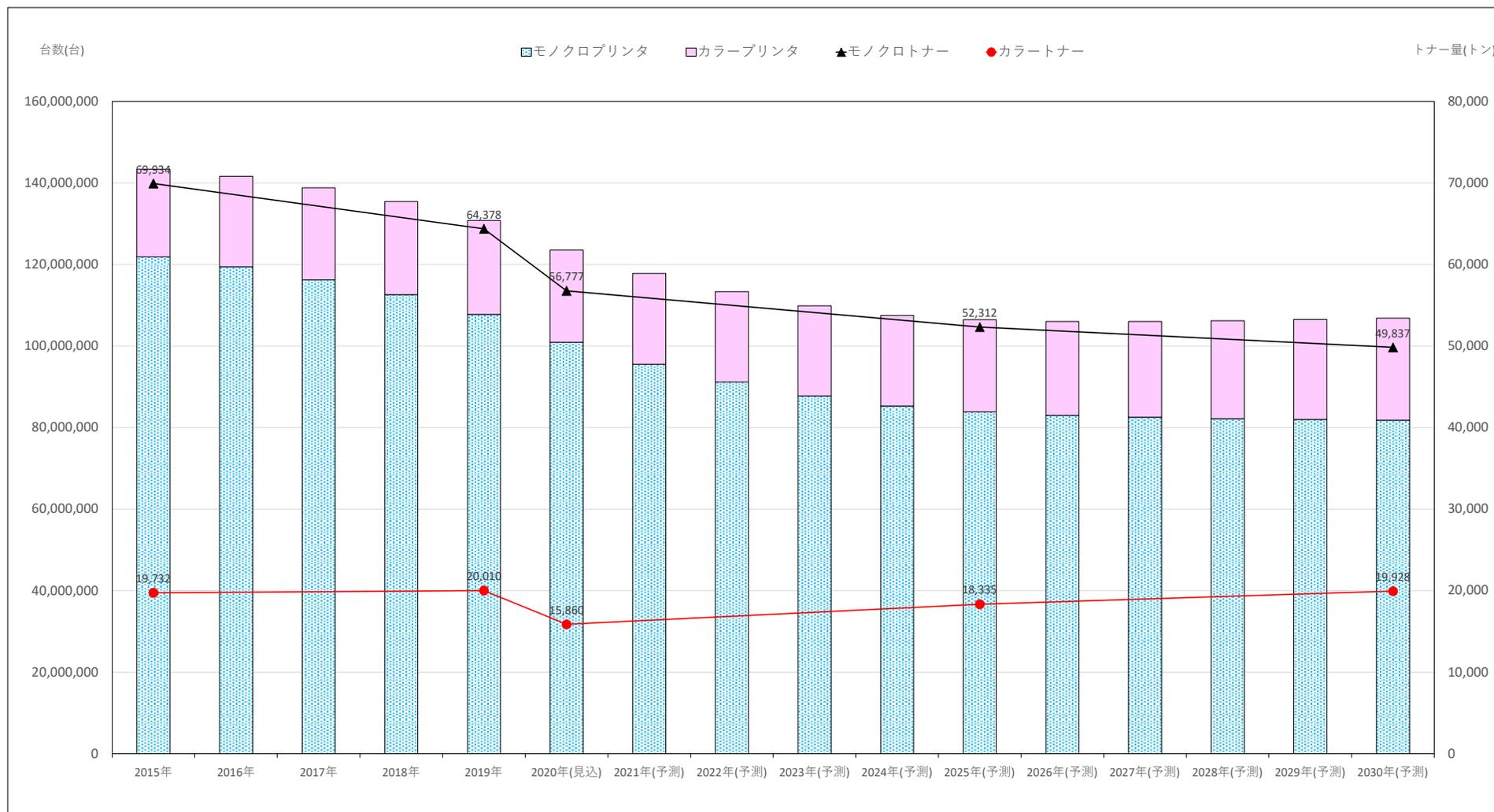
<PPC全体の出荷台数>

単位：台

		2018年		2019年		2020年（見込）		2021年（予測）		2022年（予測）		2023年（予測）	
			%		%		%		%		%		%
モノクロ	A 3	1,910,505	40.1	1,814,460	38.4	1,338,155	35.8	1,471,165	36.1	1,544,230	36.2	1,572,140	36.1
	A 4	307,430	6.5	315,090	6.7	245,960	6.6	282,975	6.9	292,650	6.9	293,330	6.7
	合計	2,217,935	46.6	2,129,550	45.1	1,584,115	42.3	1,754,140	43.0	1,836,880	43.1	1,865,470	42.8
	対前年比	-		96.0		74.4		110.7		104.7		101.6	
カラー	A 3	2,227,510	46.8	2,287,570	48.5	1,899,960	50.8	2,039,840	50.0	2,128,345	49.9	2,180,530	50.1
	A 4	318,640	6.7	303,260	6.4	258,100	6.9	284,300	7.0	301,045	7.1	309,550	7.1
	合計	2,546,150	53.4	2,590,830	54.9	2,158,060	57.7	2,324,140	57.0	2,429,390	56.9	2,490,080	57.2
	対前年比	-		101.8		83.3		107.7		104.5		102.5	
総合計	A 3	4,138,015	86.9	4,102,030	86.9	3,238,115	86.5	3,511,005	86.1	3,672,575	86.1	3,752,670	86.2
	A 4	626,070	13.1	618,350	13.1	504,060	13.5	567,275	13.9	593,695	13.9	602,880	13.8
	合計	4,764,085	100.0	4,720,380	100.0	3,742,175	100.0	4,078,280	100.0	4,266,270	100.0	4,355,550	100.0
	対前年比	-		99.1		79.3		109.0		104.6		102.1	



2. オフィス向けレーザー（LED）プリンタ（複写機）のMIF（設置台数）



「2020年版MIFマーケット総覧」より

<国内外の生産台数（比率）の変化>

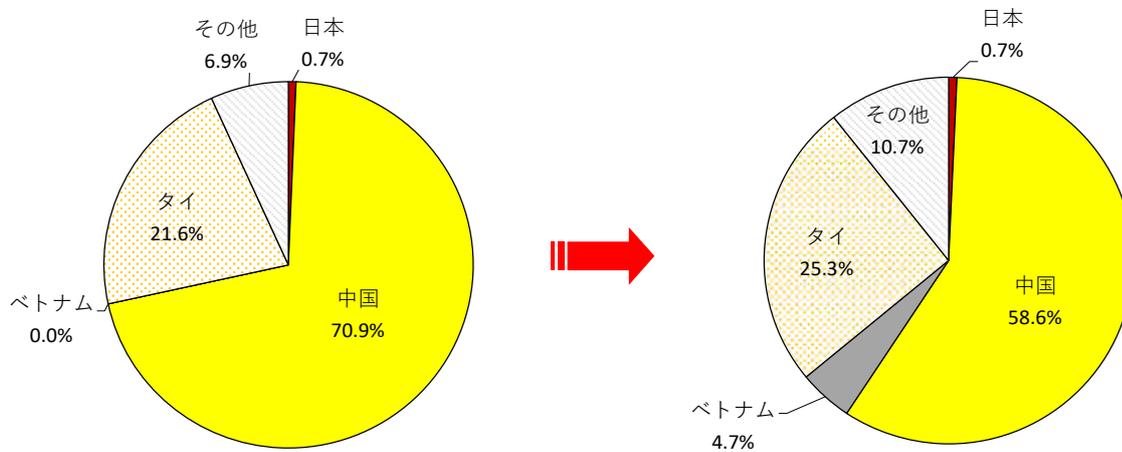
5-1. 全体

単位 (%)

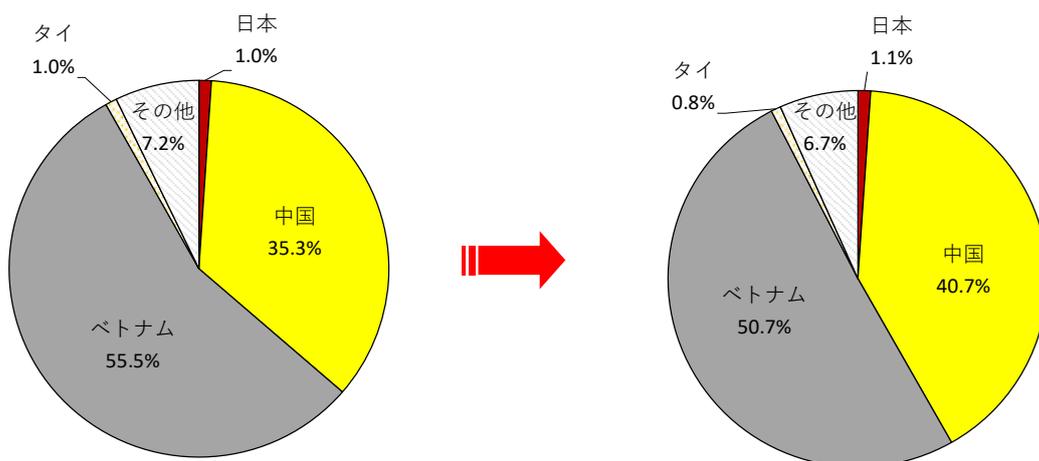
	2019年						2023年（予測）					
	日本	海外				計	日本	海外				計
		中国	ベトナム	タイ	その他			中国	ベトナム	タイ	その他	
PPC	0.7	70.9	0.0	21.6	6.9	100.0	0.7	58.6	4.7	25.3	10.7	100.0
プリンタ	1.0	35.3	55.5	1.0	7.2	100.0	1.1	40.7	50.7	0.8	6.7	100.0

※現在は中国が生産の中心だが、タイ、ベトナムなどでの生産が増加傾向。

5-2. PPC（全体）



5-3. プリンタ（全体）



3. 2010年～2020年のエンジンメーカーの動向

1) MFP (複写機・複合機) 事業

	2010年	2012年			2017年	2018年
キヤノン						
リコー						
富士ゼロックス						
コニカミノルタ						
シャープ						
京セラミタ		京セラドキュメントソリューションズ に社名変更				
東芝テック						
	パナソニック (2010年で撤退)					
		サムスン電子 (市場参入)			(HP) S-Printing Solutions (サムスン電子のプリンティング事業を買収)	HPPKに社名変更

- ・ パナソニックが2010年に撤退。
- ・ サムスン電子が2012年に市場参入。その後、プリンタ事業が2017年にHP (S-Printing Solutions→HPPK) に買収される。

2) レーザー (LED) プリンタ (複合機) 事業

	2010年	2012年	2014年	2017年	2018年	2019年	2020年
キヤノン							
リコー							
富士ゼロックス							
コニカミノルタ							
京セラミタ		京セラドキュメントソリューションズ に社名変更					
ブラザー工業							
沖データ							南北米国市場から撤退 を発表 (21.4~)
サムスン電子				(HP) S-Printing Solutions (サムスン電子のプリンティング事 業を買収)	HPPKに社名変更		
レックスマーク							
カシオ計算機						撤退	
	Pantum (Ninestar) (中国/参入)						
			AVISION (台湾/参入)				
			TOEC (中国/参入)				
				CUMTEN (中国/参入)			
					LENOVO (中国/参入)		
						Deli (中国/参入)	

- ・サムスン電子のプリンタ事業をHPが買収 (2017年)。
- ・カシオ計算機が事業撤退 (2019年)。
- ・2010年に中国メーカー・Pantumが市場参入。以降、中国・台湾メーカーのエンジンメーカーが、続々市場参入。
- ・沖データが、2021年4月から南北米国市場撤退。

4. エンジンメーカーのOEM関係の推移（OEMを受ける会社が増加）

1) 件数比較

注) グループ会社への供給は除く

2011年実績

		モノクロ	カラー		モノクロ	カラー
		社数	社数		社数	社数
MFP (複写機・複合機)	OEMを受けている会社	2	1	レーザー(LED) プリンタ(複合機)	5	6
	OEMを供給している会社	3	4		9	7
	両方ある会社	1	1		5	6
	自社エンジン製品のみ	3	3		0	3
	エンジンメーカー	7社	7社		9社	10社

2014年実績

		モノクロ	カラー		モノクロ	カラー
		社数	社数		社数	社数
MFP (複写機・複合機)	OEMを受けている会社	2	1	レーザー(LED) プリンタ(複合機)	3	5
	OEMを供給している会社	4	4		9	7
	両方ある会社	2	1		3	3
	自社エンジン製品のみ	4	4		0	1
	エンジンメーカー	8社	8社		9社	9社

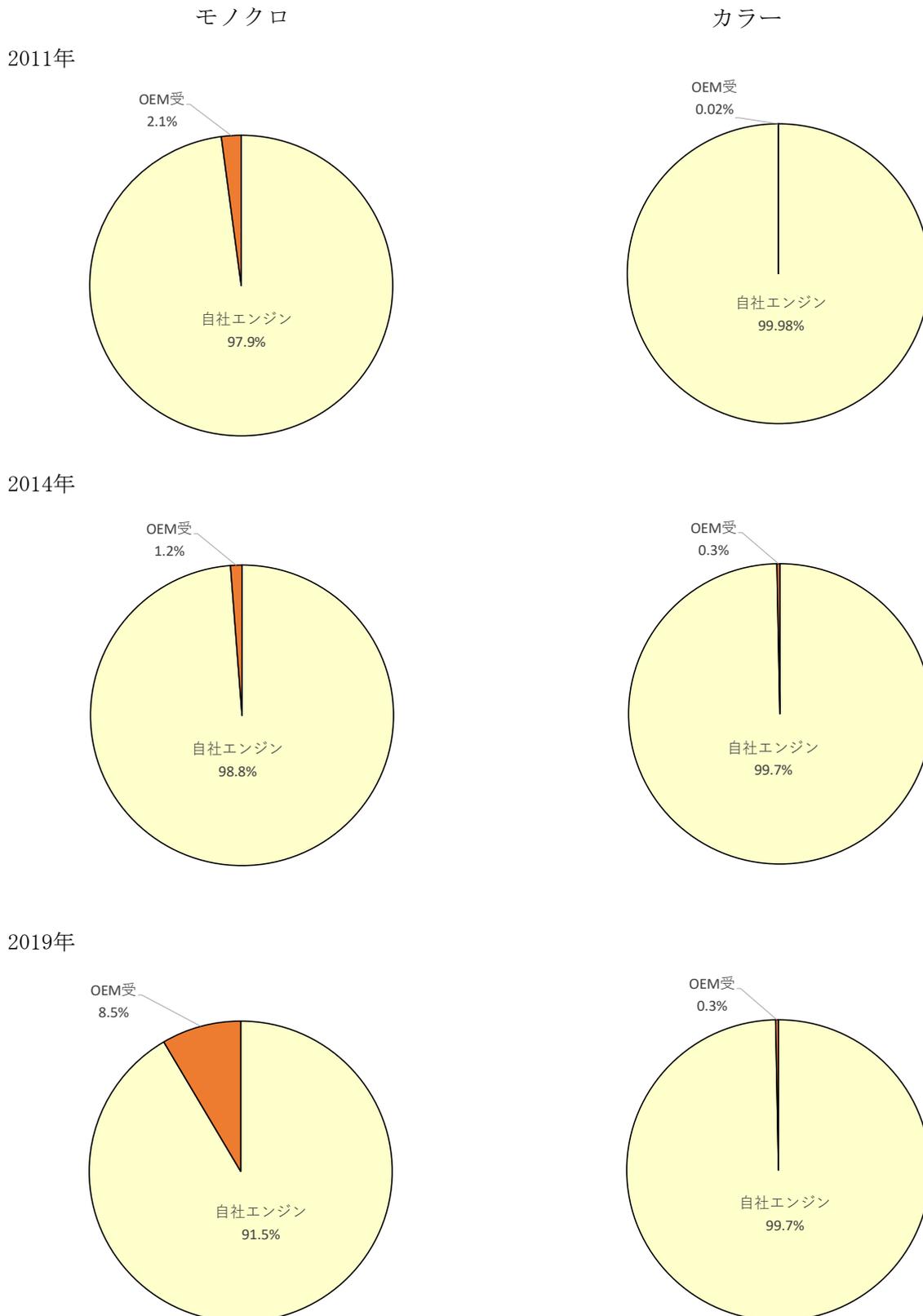
2019年実績

		モノクロ	カラー		モノクロ	カラー
		社数	社数		社数	社数
MFP (複写機・複合機)	OEMを受けている会社	5	1	レーザー(LED) プリンタ(複合機)	7	4
	OEMを供給している会社	5	4		9	7
	両方ある会社	2	1		5	3
	自社エンジン製品のみ	1	4		3 (中国メーカーのみ)	1
	エンジンメーカー	9社	8社		14社	9社

2) 数量比の比較

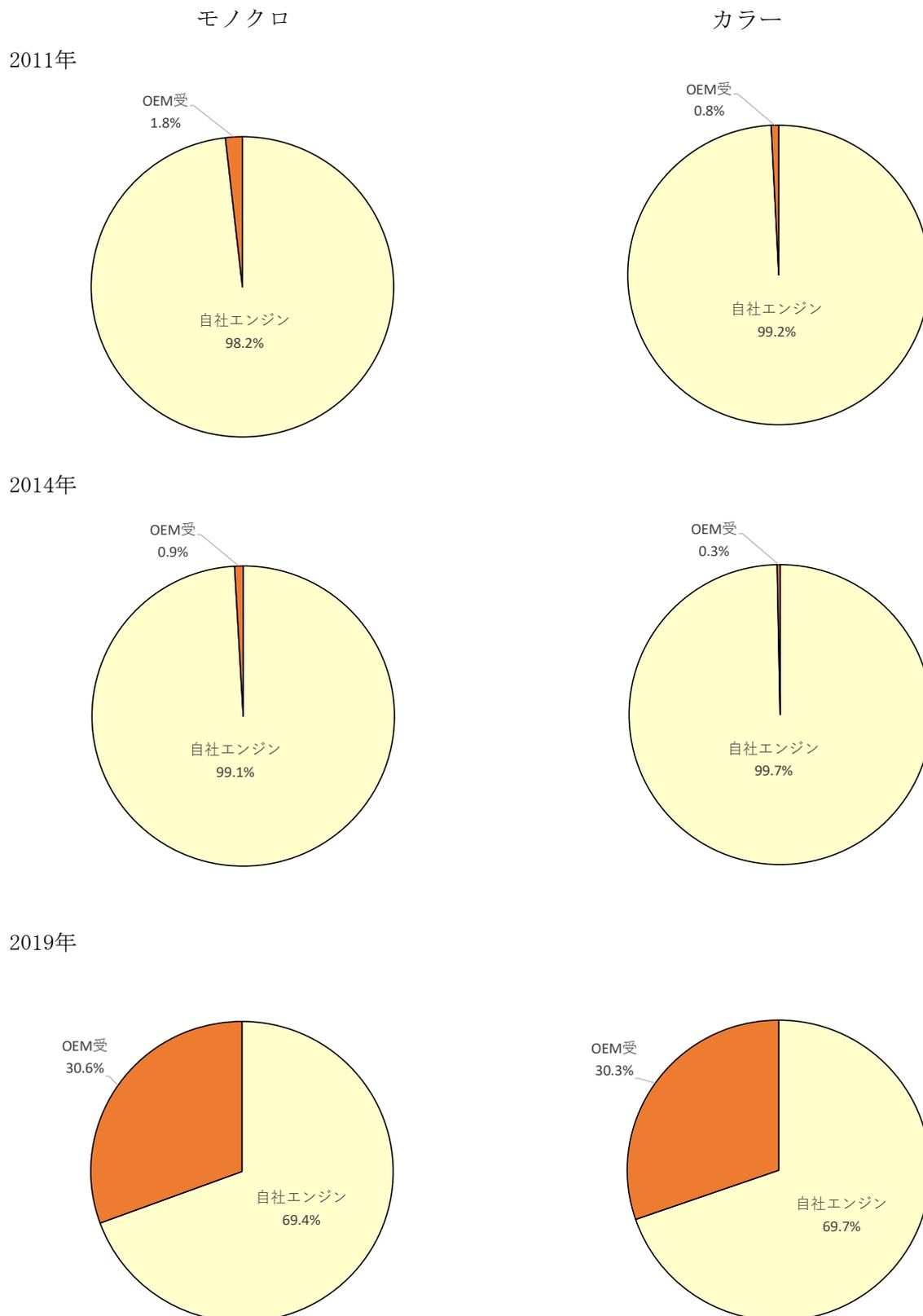
(1) MFP (複写機・複合機)

モノクロ機のOEM受の数量比は増えている。カラー機はほとんど自社エンジンで展開。



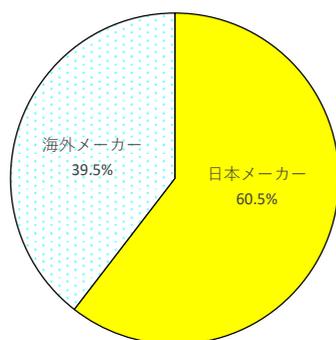
(2) レーザー (LED) プリンタ (複合機)

モノクロ・カラーを問わずOEM受の数量比率は増えている。

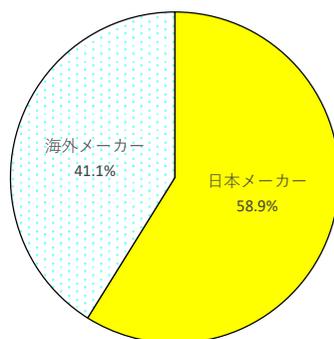


5. トナーメーカーの生産量動向

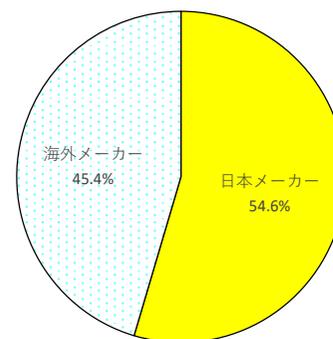
単位：トン



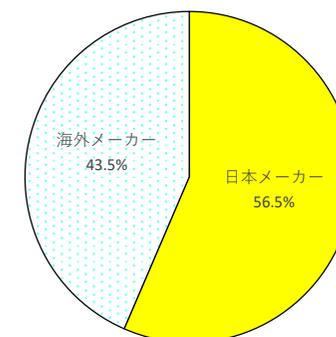
2018年



2019年



2020年



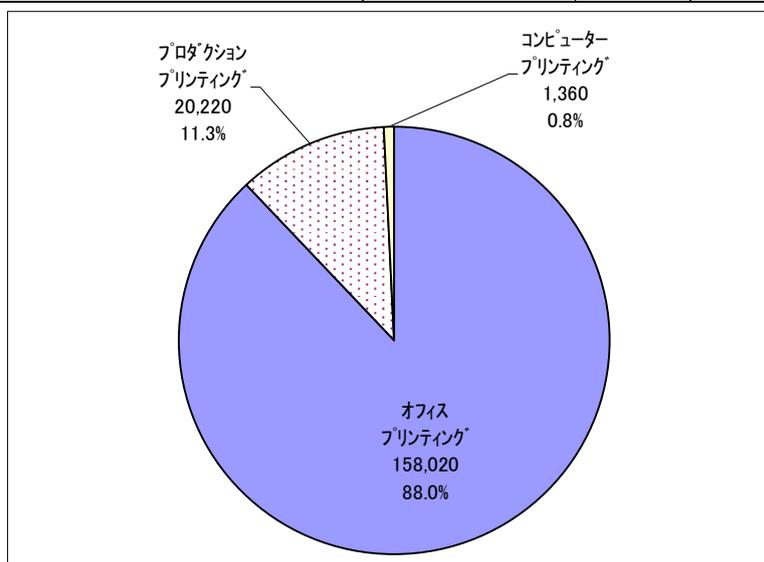
2021年

「2020年版トナーマーケット総覧」より

日本メーカーの生産量の比率は年々減少している。

< オフィス向け／プロ向けのトナー生産量内訳（2019年） >

	用途	生産量 (トン)		生産金額 (百万円)		
			%		%	
日本 メーカー	オフィスプリンティング	90,470	50.4	97,510	56.3	
	プロダクションプリンティング	14,300	8.0	18,650	10.8	
	コンピュータープリンティング	960	0.5	1,420	0.8	
	小計 合計	105,730	58.9	117,580	67.8	
海外 メーカー	オフィスプリンティング	67,550	37.6	47,800	27.6	
	プロダクションプリンティング	5,920	3.3	7,575	4.4	
	コンピュータープリンティング	400	0.2	355	0.2	
	小計 合計	73,870	41.1	55,730	32.2	
		オフィスプリンティング	158,020	88.0	145,310	83.8
		プロダクションプリンティング	20,220	11.3	26,225	15.1
		コンピュータープリンティング	1,360	0.8	1,775	1.0
		合計	179,600	100.0	173,310	100.0



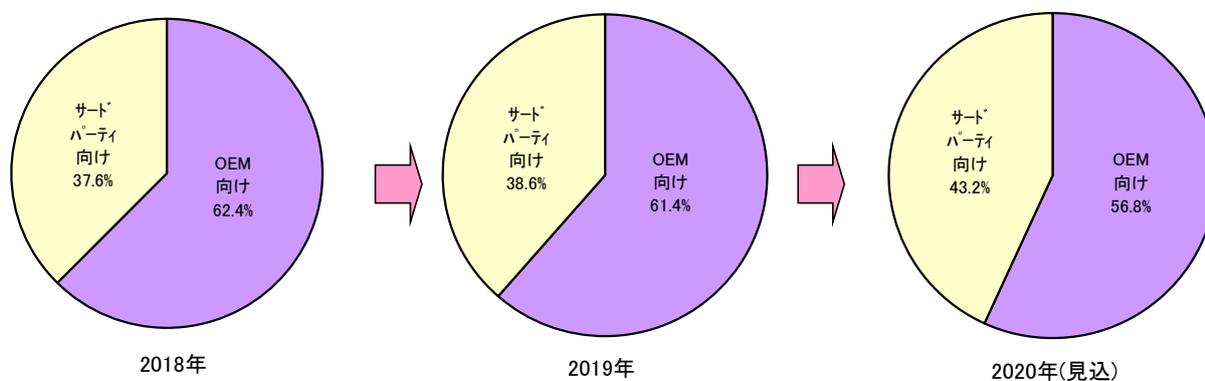
2019年のトナー市場において、生産量全体の88%がオフィス向け、11%がプロダクションプリンティング向け、1%弱がコンピュータープリンティング向けとなっている。新型コロナウイルスの感染拡大により全世界で一気に在宅勤務が普及したことで、今後はオフィスにおけるプリント需要が減少していく可能性が高く、オフィス分野以外でのプリント需要を喚起することが重要となる。

<OEMとサードパーティ向けのトナー生産量(2018年～2020年)>

(1)全体

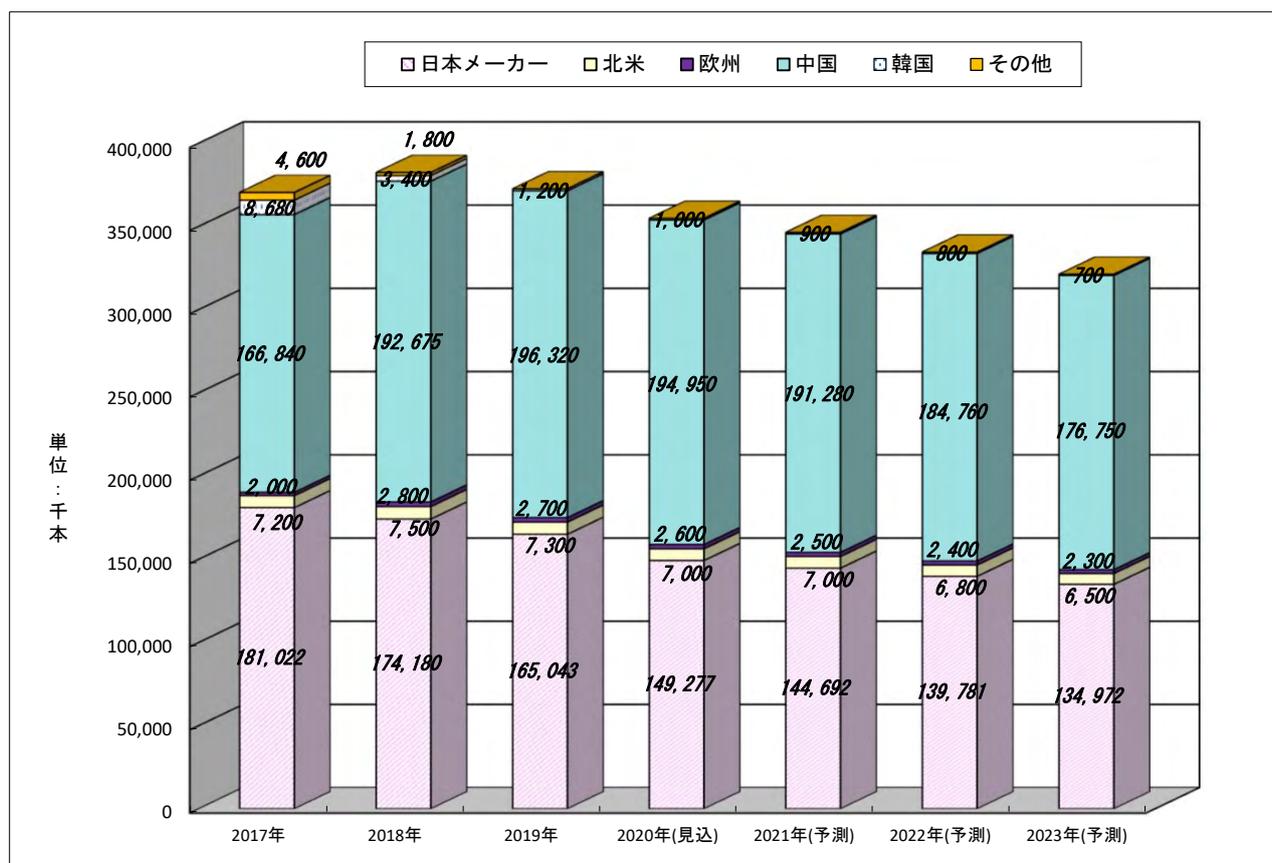
単位:トン

内訳	年		年		2020年 (見込)	
	2018年	%	2019年	%	(見込)	%
OEM向け	112,510	62.4	110,350	61.4	81,370	56.8
サードパーティ向け	67,710	37.6	69,250	38.6	61,820	43.2
合計	180,220	100.0	179,600	100.0	143,190	100.0



2019年におけるOEMとサードパーティの比率は、OEM61.4%:サードパーティ38.6%。ここ数年、サードパーティ比率が少しずつ増加していたが、コロナ影響はOEMに対する影響がより大きく出ており、2020年のサードパーティ比率は一気に43.2%まで跳ね上がる見込みである。用途別は次頁参照。

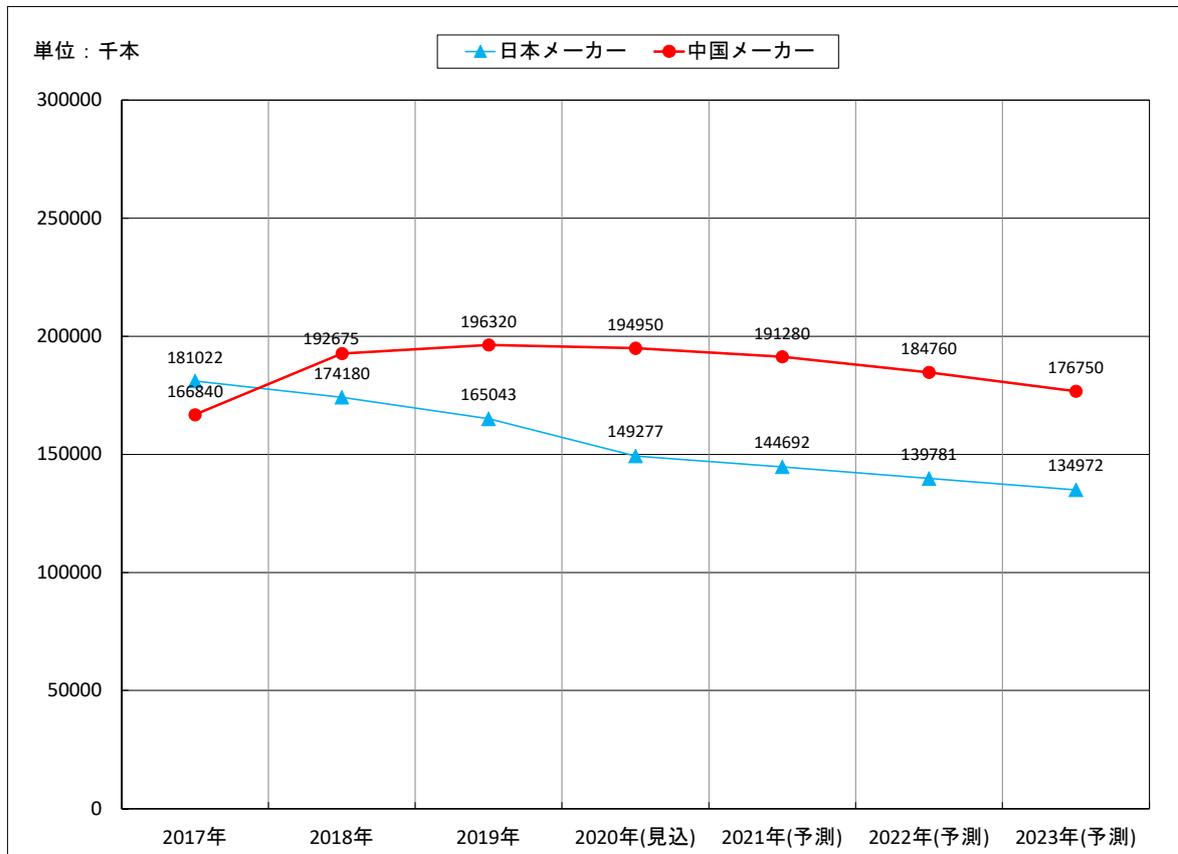
6. 感光体生産本数動向 (2017年～2023年)



単位：千本

年	2017年		2018年		2019年		2020年(見込)		2021年(予測)		2022年(予測)		2023年(予測)	
		%		%		%		%		%		%		%
日本メーカー	181,022	48.9	174,180	45.6	165,043	44.3	149,277	42.1	144,692	41.8	139,781	41.8	134,972	42.0
対前年比	-		96.2		94.8		90.4		96.9		96.6		96.6	
北米	7,200	1.9	7,500	2.0	7,300	2.0	7,000	2.0	7,000	2.0	6,800	2.0	6,500	2.0
対前年比	-		104.2		97.3		95.9		100.0		97.1		95.6	
欧州	2,000	0.5	2,800	0.7	2,700	0.7	2,600	0.7	2,500	0.7	2,400	0.7	2,300	0.7
対前年比	-		140.0		96.4		96.3		96.2		96.0		95.8	
中国	166,840	45.1	192,675	50.4	196,320	52.7	194,950	54.9	191,280	55.2	184,760	55.2	176,750	55.0
対前年比	-		115.5		101.9		99.3		98.1		96.6		95.7	
韓国	8,680	2.3	3,400	0.9	1,200	0.3	1,000	0.3	900	0.3	800	0.2	700	0.2
対前年比	-		39.2		35.3		83.3		90.0		88.9		87.5	
その他	4,600	1.2	1,800	0.5										
対前年比	-		39.1											
小計	189,320	51.1	208,175	54.4	207,520	55.7	205,550	57.9	201,680	58.2	194,760	58.2	186,250	58.0
対前年比	-		110.0		99.7		99.1		98.1		96.6		95.6	
合計	370,342	100.0	382,355	100.0	372,563	100.0	354,827	100.0	346,372	100.0	334,541	100.0	321,222	100.0
対前年比	-		103.2		97.4		95.2		97.6		96.6		96.0	

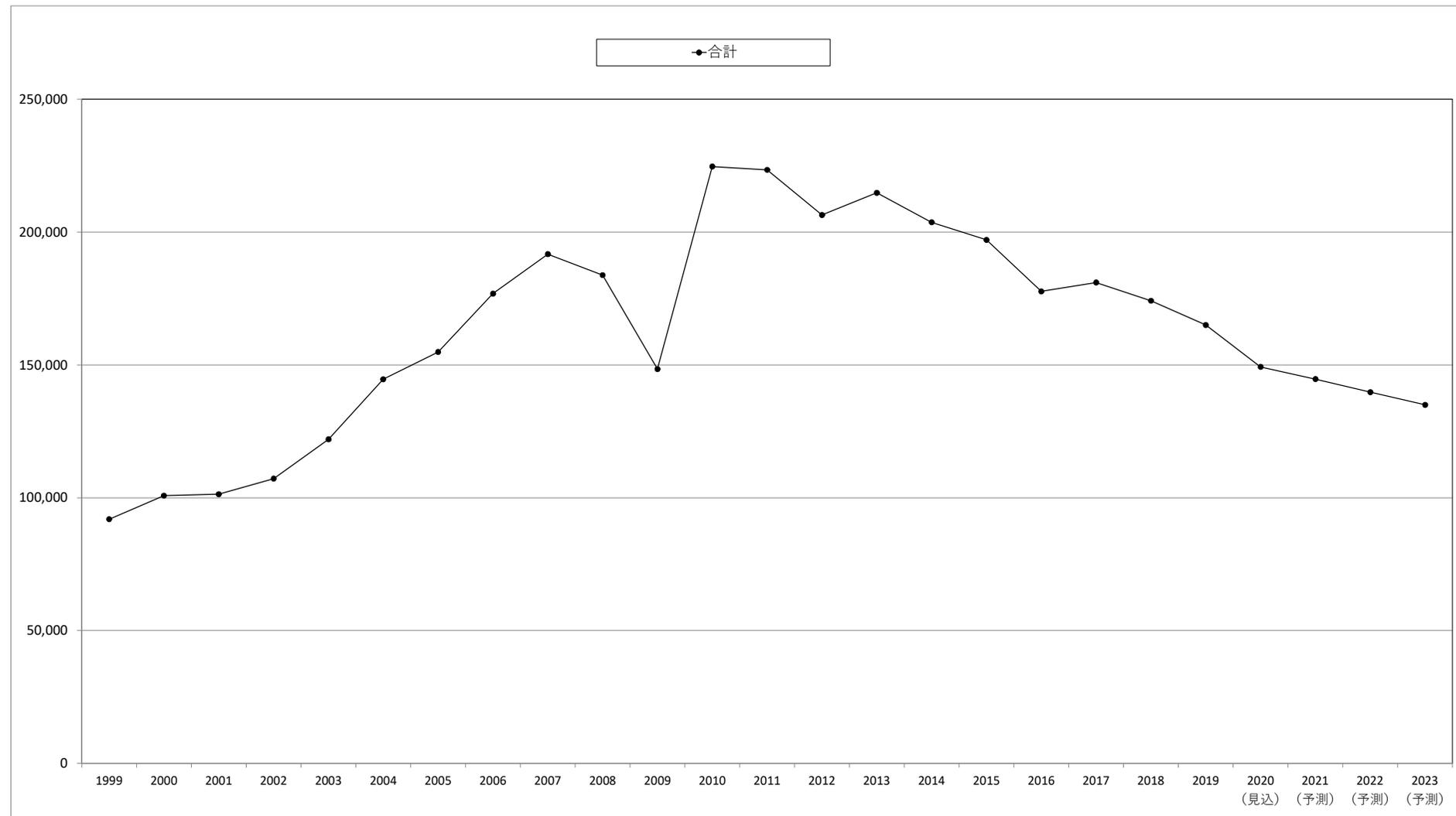
<日本メーカーと中国メーカーの生産量比較>



2018年に中国メーカーの全体生産量が日本メーカーを初めて抜き、日本メーカーとの格差は広がるが、中国メーカーもマイナス成長になる。

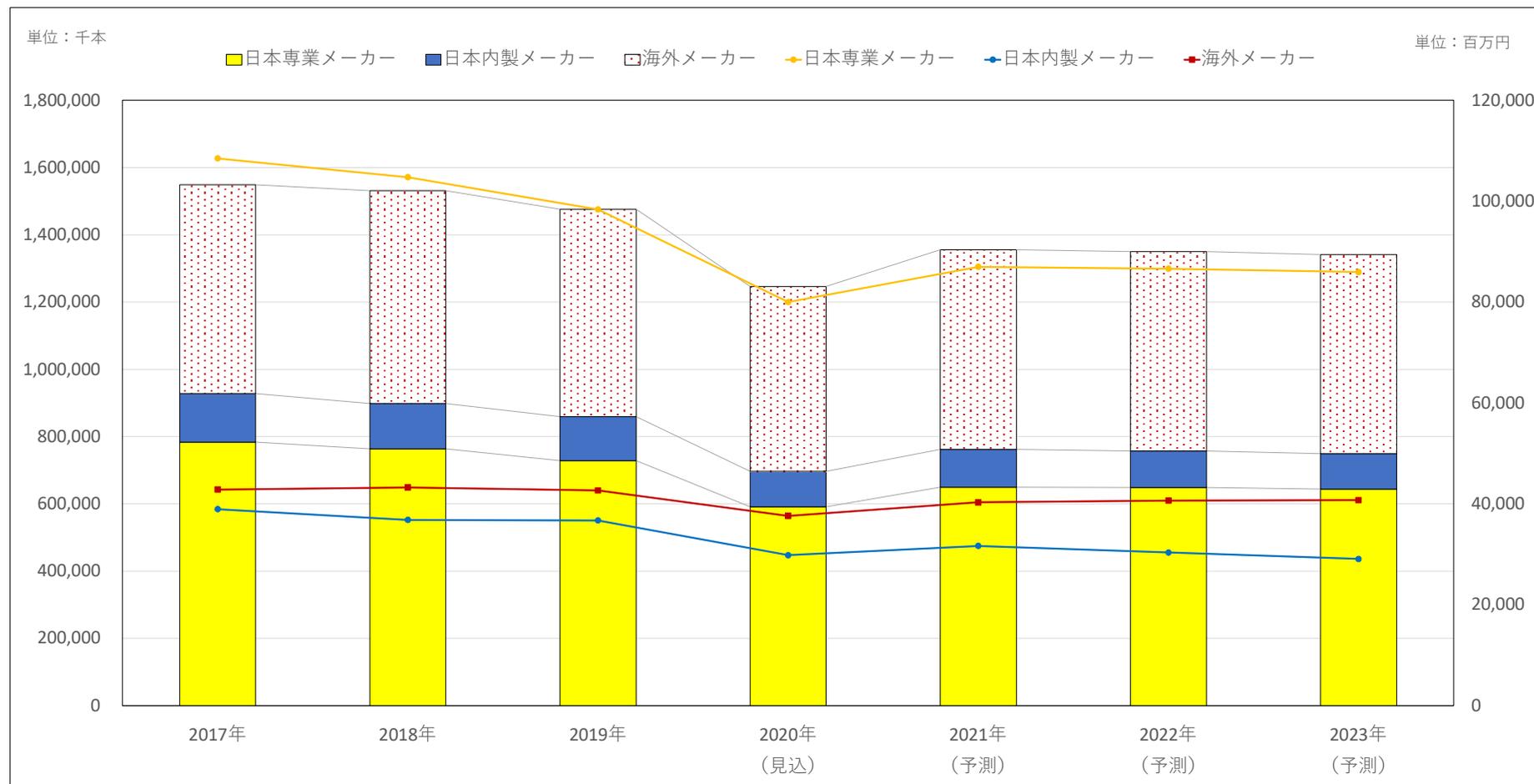
<日本メーカーの感光体の生産本数動向>

単位：千本



「2020年版感光体マーケット総覧」より

7. 機能性部品メーカーの動向



「2020年版ローラー系部品マーケット総覧」より

- ・ 専門部品メーカーの撤退が相次ぐ。(中間転写ベルト、定着ベルト、マグネットローラー、転写ローラー、ヒートローラー、加圧ローラーなど)
- ・ 内製メーカーの内製品の見直し。

刊 行 物 案 内

(注) 刊行日・価格の変更があります

《2021年刊行予定》

刊行物名	日本語版		英語版	
	価格	刊行日	価格	刊行日
*2021年版 [感光体マーケット総覧] 『戦略転換が求められる感光体業界の試練』	¥500,000	2021.2.25 予定	\$ 5,000	2021.4.26 予定
ニューレポート *2021年版『出力機器関連機材ハンドブック』	¥200,000	2021.3.22 予定	—	—
*2021年版 [ローラー系部品マーケット総覧]	¥400,000	2021.4.22 予定	\$ 4,000	注文対応
*2021年版 [トナーマーケット総覧]	¥600,000	2021.6.25 予定	\$ 6,000	2021.8.24 予定
*2021年版 [MIF マーケット総覧]	¥400,000	2021.8.26 予定	\$ 4,000	注文対応
*2021年版 [インクジェット印刷マーケット総覧]	¥500,000	2021.10.26 予定	\$ 5,000	2021.12.15 予定
*2021年版 [MFP マーケット総覧]	¥600,000 (フルレポート)	2021.12.22 予定	—	—
総合分析編・PPC 市場編 / プリンタ・プロダクションプリンタ市場編	¥350,000/ ¥350,000		—	

《2020年刊行物》

刊行物名	日本語版		英語版	
	価格	刊行日	価格	刊行日
*2020年版 [感光体マーケット総覧] (292 頁) 『新たな中国市場戦略が求められる感光体業界のゆくえ』	¥500,000	2020.2.26	\$ 5,200	2020.4.17
*2020年版緊急レポート(コロナショックと業界大規模再編) (240 頁) 『業界再編とコロナショックに揺れる事務機業界の地域別メーカー別分析』	¥300,000	2020.4.24	\$ 3,000	2020.6.19
*2020年版 [ローラー系部品マーケット総覧] (651 頁) 『要素技術で生き残る部品業界の行方』	¥400,000	2020.5.26	\$ 4,000	2020.11.25
*2020年版 [トナーマーケット総覧] (582 頁) 『事務機の中核を占めるトナー事業の将来性』	¥600,000	2020.7.28	\$ 6,000	2020.10.23
ニューレポート *2020年版 [MIF マーケット総覧] (501 頁) 『オフィス向け電子写真製品の設置台数とトナー量に関する長期予測』	¥400,000	2020.9.28	\$ 4,000	2020.12.23
*2020年版 [インクジェット印刷マーケット総覧] (366 頁) 『ポストコロナ時代に市場拡大が期待される産業用インクジェット業界の最新動向』	¥500,000	2020.11.26	\$ 5,000	2021.2.26 予定
*2020年版 [MFP マーケット総覧] (626 頁) 『新日常社会へ挑戦する事務機業界の底力』	¥600,000 (フルレポート)	2020.12.23	—	—
総合分析編・PPC 市場編 / プリンタ・プロダクションプリンタ市場編	¥350,000/ ¥350,000		—	

御清聴ありがとうございました。

株式会社データ・サプライ